

九条の会

2008・7・18

第 111 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

「人間らしく生きる」を正面に掲げ

宮崎セミナーに 1600 人

7月12日、第6回憲法セミナー「人間らしく生きる——憲法第9条と25条」が宮崎市で開かれました。「九条の会」が主催し、県内の地域・分野の38の「会」が共催したもので、九州各県からの参加者を含め、これまでの最高の約1600人が参加しました。

セミナーでは、最初に埼玉大学名誉教授の暉峻淑子さんが、勝ち組と負け組を生み出す「競争社会」と戦争とを対比し「勝つことが至上命題」になる社会を批判。自らの体験にもとずき戦争がもたらす難民の人権抑圧状況を告発しました。

続いて、ホームレスの支援活動をおこなっているNPO法人自立サポートセンター・もやいの湯浅誠事務局長が、貧困から抜け出せないでいる若者をマトに自衛隊が隊員の獲得をはかっており、若者の関心が戦争や軍隊に向かわざるを得ない社会状況を指摘し、9条と25条をセットで考えることの重要性を強調しました。

「九条の会」よびかけ人の大江健三郎さんは、トルコの改憲論議や自身が被告として関わる「沖縄ノート」裁判の主張を紹介しながら、憲法条文にこめられた歴史的な

「九条の会」事務局学習会

- ◇テーマ 名古屋高裁判決と派兵恒久法
- ◇9月13日(土) 午後1時30分～4時
- ◇会場 星陵会館(地下鉄・永田町下車)
- ◇講師 小林武(愛知大学教授) / 半田滋(東京新聞編集委員) / 渡辺治(一橋大学教授)
- ◇参加費 1000円

背景を強調し、「憲法を生きる原理として感じるのは、私にとって自然なこと。『集団自決』した沖縄島民たちを『国に殉ずるといふ美しい心』などと美化する人たちとたたかっていたい」と語りました。

目立った高校生など若者の参加

会場からは多くの質問が寄せられました。11歳の小学生から、「競争や戦争のない国にするにはどうしたらいいですか」との質問を受けた大江さんは、「人間にとって大切なことは注意深くすること。そういう人が増えていくといい」と答えました。

なお、参加者は高校生以下12人、宮崎大学や福祉専門学校等の生徒が63人と若い世代が多かったことも特徴です。この中では、

さっそく「学校9条の会」をつくる決意を明らかにしている学生もいます。職業別では、教員、公務員、医療関係者がめだちました。寄せられた111通の感想文からいくつかを紹介します（一部要約したものもあります）。

感想文から

▼素晴らしい内容でした。三人の方の、それぞれ違った方面からのお話を聞いて、来てよかったです。世の中がそんなに危ない状況になっているとは今まで知りませんでした。九条の会にも入会しようと思いません。(31歳・女・無職)

▼憲法が大変身近なものに感じられ、勉強になりました。かたい会なのかなと思って身構えていましたが、面白くて来てよかったです。(24歳・男・学生)

▼九条の会セミナーが宮崎で開催され、参加できたことに感謝しています。若者(特に30代の超就職氷河期に高・大学を卒業した人たち)の就職状態に心を痛めている一人です。教え子を明るい希望ある社会に送り出したいです。(51歳・女・教師)

▼私は重度心身障害者を子どもに持つ母親です。どんなにハンディを持っていても、人生を精一杯生きてゆくことができるように、母として一日一日を大切に生きて行きたいと改めて感じた時間でした。ありがとうございました。(58歳・女・主婦)

▼自分の子どもがこういう社会でこれから過ごしていくうえで、人間らしく生きる社会にしていく努力は何であろうか?深く考えさせられました。(55歳・女・主婦)

▼暉峻先生の話のなかで、自分の子どもに、自分が味わっている苦痛・苦悩を味あわせたくないがために、「勉強してトップに

なり、資格をもち、収入を多く得られる職に就けなくては、生きていけないのだ」という親の話がありました。私自身が、子どもの時からずっと追いつめられ、挫折し、今現在の格差社会に苦しんで、生活に追われて笑顔を忘れている。子どもからも笑顔を奪っている。私だけの問題ではなく日本全体の問題なのだと、目からウロコでした。子どもが子どもらしく笑顔でいられる社会をつくるのが、本当に私たち大人もゆとりをもって生きられる社会だと思います。

(36歳・女・医療事務)

▼恥ずかしながら大江さんのファンで、会の主旨もあまり考えず参加させていただきました。他の2人の先生も存じあげなかったのですが、とても心に染みる講演でした。特に現在2人の子どもの子育て中ですので、暉峻先生の「競争」についての話は反省させられました。(36歳・女・公務員)

▼宮崎にもこんなにたくさん憲法9条と25条を考える人たちがいることが分かり、とても感動しています。人間らしく人々が生きていくことは、「最低限第9条を守ることが義務であり、遺産として残さなければならない」。いま私たちができる社会への貢献です。(51歳・男・公務員)

▼あまりにも自分が何も知らない、または知っている勘違いしている(それ以上関心を持とうとしていない)んだと感じました。ありがとうございました。(25歳・男・銀行員)

▼今まで、新聞などで見知っていたことを、現実として突きつけられた気がしました。ワーキング・プアや格差など知ってはいるけれど他人事だと、心のどこかで思っていたのかもしれないが、これは自分の

こと、自分の子どものことなんだと実感しました。私は教員という立場で子どもと接する機会を多くもちますが、我が子も含めて、子どもたちが夢をもって歩ける社会に胸を張って送り出せるようにするにはどうしたらいいか、あらためて考える貴重な時間でした。(32歳・女・教員)

▼9条だけを見ていました。だから今回のセミナーは大変勉強になりました。憲法を前に後ろに支えにしていきたいです。有意義な会をありがとうございました。(30歳・女・見習い)

▼参加者の多いこと、特に若い人の多いのに感心し、講師の先生方のナマナましい表現のお話に感動しました。さっそく、みやざき九条の会に入会させていただきました。(75歳・男・無職)

▼ありがとうございました。夜勤明けの疲れた体に新しい血が流れました。これからの生活に、今日の話を生かしてまいります。(53歳・女・ケアマネージャー)

▼私の住む地域には自衛隊があります。生活支援を糧に入隊する人もいると思うと心が痛みます。湯浅さんは、「たいしたことはできない」とおっしゃいましたが、そんなことはないと思います。今回のセミナーに参加したことによって、漠然としていた考えをまとめることができた気がしました。いろんな面から9条を見つめることによって、いろんな社会問題が見えました。みなさんに感謝します。(20歳・女・大学生)

▼25条から崩していく9条の改憲という、政治側や経団連の思惑がはっきりとわかった。形を変えたドレイ制度をとめるのは今しかないと思った。考える機会をつくって

下さって、本当にありがとうございます。

(35歳・女・会社員)

▼素晴らしいセミナーであった。第9条と他条項を結びつけることは考えたこともなかった。今後の運動の糧としてさらに前進したい。(67歳・男・農業)

▼普通に、人間らしく生きていただけなのに、それがとても難しい時代で胸が詰まる思いがあります。この閉そく感を打破する手立ては？ 解決策は？ どのような行動が必要か？ 考えて行動しなければ…。良い勉強となりました。(49歳・女・自営業)

▼何気なく過ごしている日常ですが、こんなに関心を持っている多くの方々や、講師の先生のお話を聞いて、いつもアンテナを張って、清く元気に生きていける社会を作れるように、しっかり考えてゆきたいと思いました。講演を聞いてよかったです。

(57歳・女・主婦)

▼憲法9条だけで考えては駄目なんだと思いました。他の25条や13条など様々な条文とセットで考える事が大事なんだと勉強になりました。少し、見方が変わった気がします。遠方からの参加でしたが、来てよかったです。(22歳・女)

▼はじめて熊本から高速道路を軽車両を走らせてきましたが、参加できてよかったです。私の市では小学校区ごとに「9条の会」をつくろうとしていて、小学校区11のうち、6つの校区に「9条の会」ができています。なおいっそう努力しなければと思いました。(59歳・男・団体職員)